

Sui

Chiyoda Town Information
群馬県邑楽郡千代田町

千代田町

ここしかない情景とここしかない時を求めて



Photo: 利根川を渡る赤岩渡船

sui

Chiyoda Town Information



千代田町：2018年3月発行 / 2021年3月改訂
〒370-0598 群馬県邑楽郡千代田町大字赤岩1895-1

Tel: 0276-86-2111 URL: <https://www.town.chiyoda.gunma.jp/>



宅地分譲の
ご案内

ゆとりある暮らしをもとめて

ふれあいタウンちよだ

萱野・上中森エリア

平均80坪の
ゆとりの区画
2台分の駐車場を確保しても
庭が造れるゆとりある区画

子育て・
教育環境が充実
団地の1km圏内に
こども園・小学校があり、
子育て世帯も安心

便利
団地内にある
大型商業施設
ジョイフル本田(千代田店)に
隣接、生活がますます便利に

安心
緑ゆたかな
安らぎの居住環境
団地内には2カ所の公園があり、
憩いの空間が確保されています



区画面積

平均約**80**坪

237.80㎡(約72坪)～318.22㎡(約96坪)

分譲価格

486万円台～

4,862,900円～7,446,300円 最多価格帯 600万円台(61区画)

団地
概要

萱野エリア

<西邑楽土地開発公社が分譲する区画>

Kayano area

開発総面積	16ha
総区画数	62区画
分譲区画数	10区画
区画面積	246.36㎡～318.22㎡
分譲価格	5,346,000円～7,446,300円
地目	宅地
用途地域	第一種低層住居専用地域 近隣商業地域
地区計画	東部地区 地区計画
建ぺい率	50%(近隣商業地域80%)
容積率	100%(近隣商業地域200%)
道路	6m～8mアスファルト道路(植栽あり)
設備	上下水道、ガス(LPガス集団供給)
申込資格	自ら居住する住宅を建築し、生活の本拠とする方 分譲代金を納入期限までに支払うことのできる方ほか
事業者	西邑楽土地開発公社(千代田町都市整備課) 群馬県邑楽郡千代田町大字赤岩1895-1 電話0276-86-7003

上中森エリア

<群馬県企業局が分譲する区画>

Kaminakamori area

開発総面積	25ha
総区画数	241区画
分譲区画数	107区画
区画面積	237.80㎡～306.99㎡
分譲価格	4,862,900円～7,146,700円
地目	宅地
用途地域	第一種低層住居専用地域
地区計画	東部地区 地区計画
建ぺい率	50%
容積率	100%
道路	6mアスファルト道路(植栽あり)
設備	上下水道、ガス(LPガス集団供給)
申込資格	自ら居住する住宅を建築し、生活の本拠とする方 分譲代金を納入期限までに支払うことのできる方ほか
事業者	群馬県企業局(団地課分譲室) 群馬県前橋市大手町1-1-1 電話027-226-3955

お申し込み・
お問い合わせ先

ふれあいタウンちよだ現地案内所 ☎0276-86-7500

〒370-0726 群馬県邑楽郡千代田町大字上五箇444-1 (午前10:00～午後5:00) 群馬県企業局・西邑楽土地開発公社

令和3年2月1日現在

sui

水に祝福された千代田町の歴史。利根川中流域の左岸に沿ったこの町は、古くから水運の拠点として栄えました。川は今も昔も、多くの恵みを千代田町にもたらしています。様々なマリンスポーツ、美しい地下水がもたらす地酒。明治の文豪・田山花袋はこの地によせて小説『河ぞひの春』を残しました。

翡翠のように美しい、千代田町の緑。赤土、黒土のバランスがよい関東ローム層の土壌は、昔から多くの桑畑を育み養蚕業に貢献してきました。保水力はあるのに水はけのよい土は、この地の植木産業の要となるものです。約50もの業者が集う知る人ぞ知る「植木の里」として、その名を全国に拡大しつつあります。

瑞々(みずみず)しい、千代田町の子どもたち。水と緑に恵まれたこの地だからこそその未来がすくすくと成長しています。「レガッタ」や植木職人たちによる「緑育」など、この地ならではの教育、イベントが多彩。スポーツ施設、練習場も豊富にあり、子どもたちの背中をゆったり後押ししてくれています。

さて、川面に浮かぶ高瀬船にでも乗った気分です、千代田町を渡してまいりましょうか。

CONTENTS

- | | |
|--------------------|---------------|
| 04 水 - 利根川と千代田町 - | 14 千代田の道 赤岩渡船 |
| 06 翠 - 緑の守り人 - | 16 千代田の祭 川せがき |
| 11 瑞 - 千代田町のスポーツ - | 18 文豪の愛した町 |



利根川と 千代田町

千代田町を語る上で、まず第一のキーワードとなるのが「水」との歴史です。利根川中流域の左岸に沿って東西に細長く延びたこの町は、古くから利根川水運の拠点として栄えてきました。

また、全長700mの『利根大堰』は首都圏の飲料水、農工業用水を支えるほか、レガッタやウィンドサーフィンなどマリンスポーツのメッカとしても賑わいます。とくに毎年夏に行われる「レガッタ」は、千代田町を代表するイベントとなっています。そもそも群馬県がボート競技の普及に利根大堰の千代田エリアを推進地域に指定したことが始まり。当初は12艇ほどでしたが、現在は47艇が参加する大会へと成長しました。そのうち半数は千代田中学校を中心とする中学生チーム。10代前半でレガッタというスポーツを体験できるのは、千代田っ子ならではの特権でしょう。

「みんなで声を出して早く進めると、自分たちが団結しているって感じます。それで勝てるとうれしいんです。」と参加した中学三年生。普段はバドミントン部に在籍する女の子はこんな風にレガッタの魅力を語ってくれました。大会当日は、スポーツ推進委員の方や町のボランティアが、かき氷やフランクフルトなどの軽食を用意

し無料配布で大会を盛り上げてきました。優勝したチームが県の推薦を受けて隅田川のレガッタに出場し「地域の部」で優勝したこともあるというから、これは町をあげたスポーツといっても過言ではないでしょう。

水が育ててきた千代田町の歴史は、これから先も水とともに続いてゆくのです。



水



山川酒造株式会社

群馬県邑楽郡千代田町赤岩 185-3 TEL: 0276-86-2182

千代田町の豊かな水は、日本酒醸造の歴史をつないできました。嘉永3年(1850年)創業の老舗蔵元山川酒造は、蔵元杜氏による酒造りをおこなっています。“つくり手が飲みたいと思える酒を”と手間暇を惜しまない山廃仕込みの酒は、濃醇で腰が強く香りと奥行きがあり、千代田町を代表する日本酒です。



サントリー〈天然水のビール工場〉 群馬・利根川

町の北部にあるサントリー〈天然水のビール工場〉群馬・利根川では、千代田町の豊かな水資源“深層地下天然水”を使用してザ・プレミアム・モルツなどの美味しいビールを製造しています。町の周辺には、通称ビール麦と呼ばれる大麦の畑が広がり、一面の緑から金色の絨毯へと町の景色を彩ります。

翠

緑の守り人

千代田町で植木づくりが始まったのは約100年程前の大正時代。当初は庭木を主としていましたが、その後、公園や街路などの緑化木の生産も始まりました。最近ではガーデニングブームともあいまって、様々な需要に対応しています。植木生産、造園、庭園管理などを行っている業者は約50団体。「植木の里」として確かな信頼を得てきました。

職人さんたちの取材・撮影時に、「何か取って置きのもや、代々伝わる道具みたいなものがあれば見せてください。」とお願したところ、どの職人さんたちも答えはほぼ同じ。「いやあ、そういうのはとくにないねー。壊れたら新しいの買っし、研いで刃が小さくなくても適当なの買っしね。」

こんな風に潔く言っただけのけるのは、代々守り受け継いできたものが、決して「形あるもの」ではないことの証です。職人たちの技術、経験、知識は目に見えないものだけれど、たしかにそこにあるものです。千代田町の植木職人たちには、形のない、目に見えない宝物が受け継がれているのです。





展望台から滑り降りる全長 60m のローラーライダーは町の景色と風を楽しめる大人気スポット。



千代田町西部、利根川沿いに位置する「第一三共なかさと公園」は、「水と風」をテーマに平成13年に完成した緑豊かな公園です。約6.2ヘクタールと広大な敷地の中には利根川や千代田町を一望できる展望台や、その展望台から滑り降りる60メートルのローラーライダーをはじめとした数々の遊具、思いっきり走り回る芝生広場などがあり、「子どもと遊べる公園」として町内外の家族からとても人気があります。

園内を散歩しながら四季折々の表情を見せる花木を楽しんだり、本格的な野球場やバーベキュー棟で仲間たちと友好を深めたりと、幅広い年代の方々に利用されています。無料の駐車場・トイレ・管理事務所には飲料水販売など、安心して利用できる環境が整備され、憩いの場・スポーツの場として多くの人たちが訪れています。また、公園内にあるふれあい橋から望む富士山が「関東の富士見百景」に選ばれました。

家族の時間を 緑豊かな公園で

Daiichi Sankyo Nakasato Park

第一三共なかさと公園

群馬県邑楽郡千代田町舞木470-16

瑞

おとなも子どもも
スポーツの近くに

東部運動公園

いつでもスポーツが
できる環境があります

約8ヘクタールと広大な東部運動公園。園内には、KAKINUMAアリーナ・アクア、天然芝の丸籾サッカーフィールド、野球場、多目的広場（グラウンド）、テニスコートや遊具広場があり、町民のスポーツ活動拠点として、スポーツクラブの活動から各種スポーツ大会の開催、サークル活動など、子どもから高齢者まで多くの人々が利用しています。

KAKINUMAアリーナには、アリーナ、トレーニング室、多目的室などがあり、アリーナをはじめ各室には冷暖房を完備するとともにバリアフリー化を実現しています。

開放的な
トレーニング室には
ボルダリングの
設備もあります



緑育

Ryokuiku
by Garden Spirits

育て育てられる活動

町内のこども園・小中学校の子どもたちは、植物を育てることを通して自らも成長していきます。育てた花は、先輩を送り出す時のプレゼントであったり、先輩が育てた花の球根を新入園児が受け継いだりと、造園業が盛んな千代田町ならではの育みのカタチです。



造園業の若手で結成されたガーデンスピリッツ。
その緑育部会が中心となり緑育活動をおこなっています。
この活動は、子どもたちの笑顔と、素敵な花を咲かせ続けています。





みんなおもしろくて、バカみたいなことをしているけど、練習はとっても真面目なんです。この大切な仲間と一緒に、このチームで金メダルを取りたいです。学校以外でも遊んだりするくらい本当に仲良しです！

休憩中でも個人練習しています。バスケットが大好きなんです。このアリーナでプロバスケの試合を見た時、スピードがすごくて驚きました。これからも大好きなバスケットを続けたいのと、千代田町に住んでいきたいです！



まだ始めたばかりだけど、楽しく練習しています。シュートが入るととても楽しいです。休憩中もお友達と鬼ごっこしたり、コーチやお姉さんたちもみんな優しく、ミニバスケットが大好きになりました。



サッカーは1年生から始めました。大好きなサッカーを芝のグラウンドで練習できるのは凄いいことだと思います。千代田町は、田んぼがいっぱい自然がいっぱいで良いなと思います。Jリーガー目指して頑張ります！

チームには1年生から6年生までぶざけあえる仲間がいます。コーチに新しい技を教えてもらって、練習した成果が試合で出せるととても嬉しいです。でも、ゴールを決めた時が一番かな。友達がたくさんできる町です。



僕のチームは、団体行動が苦手な時もあったけど、言われなくてもできるようになりました。新潟や山梨などへ遠征にいたり、他のチームとの交流ができるので楽しいです。夢は、プロバスケの選手です！



他のチームをみても、僕たちは練習を真剣に取り組めるチームだと思います。7歳の時に自分でやると決めたレスリングで、オリンピックに出場して優勝したいと思っています。千代田町は自然が多くて空気が綺麗です！



仲の良さがチームワークに繋がっていると思います。このチームで県大会に出場するのが目標です。千代田町はイベントに参加しても、知っている人がいっぱいいるので友達同士でも安心して参加できます。



群馬県内の他のチームと合同練習などで交流できるのが楽しいと感じます。小学1・2年生とも一緒に練習しますが、兄弟みたいな感じです。僕も先輩たちの姿を見てきましたが、今度は僕が弟たちに見せる番です！



野球は小学2年生から始めました。学年関係なく仲の良いチームです。千代田町は地域の活動があるので、いじめがなくみんなが仲良くできていると思います。岡島選手のように、有名なプロ野球選手になりたいです。

野球を始めて一年が経ちました。厳しく優しい先輩たちに囲まれて楽しく練習しています。大会でホームランを打ちたいです！僕は転校して来ましたが、町の人たちは、みんな優しく感じています。



仲が良いからケンカもするし、どんどん仲間と話ができるチームです。いつもは楽しくやっていますが、試合になるとオーラが出るというかチームの雰囲気が変わるんです。これからも野球を続けたいと思っています。



クラブ活動で広がる 学区を越えた仲間の輪

千代田町にはスポーツで育つ伝統があります。クラブで活躍している子どもたちに聞いてみました。クラブ活動のこと、そして千代田町のこと。



赤岩渡船は千代田町赤岩から利根川をはさんで向こう岸の埼玉県熊谷市葛和田を動力船で結んでいる、主要地方道（県道）熊谷・館林線上にあります。現在、唯一残る利根川を渡る橋のない公道として、年間2万人を超える方々に利用されています。

千代田の道

赤岩渡船 Akaiwa-tosen



阿弥陀三尊像（赤岩・光恩寺）

県指定重要文化財

豊かな姿であらわされた、鎌倉時代初期の代表的な作品です。



地蔵菩薩画像板碑（赤岩・光恩寺）

県指定重要文化財

最古に属する画像板碑で、鎌倉時代の石像美術品としても貴重なものです。

千代田町の歴史資産



銅五種鈴（赤岩・光恩寺）

国指定重要文化財

鎌倉時代に作られた五種類の銅製の鈴で、密教法具として使われます。



運航時間

4月1日～9月30日 午前8時30分～午後5時00分
10月1日～3月31日 午前8時30分～午後4時30分

※年末年始（12月28日～1月3日）は運航時間が変更となります。
※増水や強風等により運航が危険な場合は運休となります。
運休になると群馬県側に赤旗が上がります。

唯一残る 水上を渡る県道

戦国時代、上杉謙信の文獻にも登場する赤岩の河岸。赤岩の河岸は水深が深く、水運が発達した江戸時代には高瀬船が定船できる利根川最上流部であったため、各地から物資が集まる水運の拠点として重要な役割を果たしていました。この当時、赤岩河岸には高瀬船二〇艘、小舟一〇〇艘以上があったと言われています。そして、町内では赤岩のほか舞木、上五箇、上中森、下中森などの河岸と呼ばれる渡船場が栄えました。

明治時代には富岡製糸場（平成二十六年世界遺産登録）で生産された生糸を赤岩で高瀬船に載せ替え、江戸川から東京湾経由で横浜まで運んでいました。また、自動車普及し始める昭和四〇年代初頭までは、渡し船で対岸側に嫁ぐ花嫁や嫁入り道具を運んでいました。

渡船機能だけが残る現在は、河川交通手段として地元の人はもちろん、自転車と共に対岸へ渡るサイクリストや観光の方々に幅広く利用されています。



千代田の祭 川せがき

毎年約4万人が訪れる千代田町の夏の一大行事。
会場には町内の子どもたちなどが作成した燈ろうがならび、
闇夜を優しく照らします。

川せがき

毎年8月18日（雨天順延）
午後6時～午後9時

※詳細はお問い合わせください。
千代田町役場 産業観光課
電話0276-86-7005



巖かに流れる灯りと 夜空を彩る火の花

千代田の祭「川せがき」は140年以上の歴史を持つ伝統のある町民総参加の祭です。赤岩村（現千代田町大字赤岩）の「かぶと屋」という豆腐店に、倉吉という誠実な男が働いていましたが、明治10年7月4日利根川に投網を打ちに行き、あやまって水死してしまいました。この知らせを聞き驚いた「かぶと屋」の主人は、早速、赤岩光恩寺の住職と相談し、倉吉の霊を供養したことが始まりといわれています。

僧侶の読経と川面に流れる儚い灯が美しい燈ろう流し（川せがき）を中心に、打ち上げ花火、民踊流し、舞台芸能などが執り行われます。夜空を彩る花火は、利根川に向けて打ち上げられる水中スターマインなど多彩で、人々を魅了しています。

行事の他にも会場の入り口から会場内には多くの露店が連なり、子どもから大人まで楽しむことができます。

千代田町の歴史資産



ぼんしょう
光恩寺の梵鐘（赤岩・光恩寺）
町指定重要文化財

寶林寺の梵鐘とともに、国の重要美術品とされた名鐘です。



ぼんしょう
寶林寺の梵鐘（新福寺・寶林寺）
町指定重要文化財

国の重要美術品とされた名鐘で、当地方の歴史を語る貴重なものです。



仁王像（木崎・東光寺）
町指定重要文化財

17世紀後半から18世紀初期頃に造像された、優れた仁王像です。

暮らしの情報



福祉医療 (子ども・ひとり親家庭等)

医療費の自己負担分(保険適用分)を助成します。保険診療以外のもの(健康診断や予防接種、薬の容器代など)や、高額医療費、災害共済給付などの制度が利用できる場合は、支給対象外です。

[住民福祉課 保険年金係]



電車による遠距離通学者 助成金交付事業

千代田町への定住やUIターン促進、公共交通の利用による環境負荷の軽減等を目的として、遠距離通学者の電車の定期券購入費用の一部を助成します。

[企画財政課 企画調整係]



移住者住宅取得費等 補助金交付事業

千代田町へ移住する方の住宅の新築又は、購入、中古住宅の購入に要する経費に対し、最大で60万円を補助します。

[都市整備課 都市計画係]



三世代ぬくもり家族住宅取得等 応援事業補助金

親世帯と子世帯が、お互いを支援し、町内で新たに同居するため、住宅の新築・購入や増改築をした場合に、その費用の一部を10万円を限度に補助します。

[企画財政課 企画調整係]



子育て育児用品 購入費助成金

乳児(満1歳未満)のために購入した育児用品(紙おむつ、粉ミルク等)の費用に対し、最大で1万2千円を保護者の方へ補助します。乳児の出生後に町内の店舗で購入した物品に限ります。

[健康子ども課 子育て支援係]



英語検定料 助成金交付事業

中学校生徒の英語力と学習意欲の向上を目的として、町内の中学校に在籍する生徒及び町内に住所を有し町外の中学校に在籍する生徒を対象に、英語検定料の全額を助成します。

[教育委員会事務局 総務係]

ほかにも暮らしに役立つさまざまな制度が整っています。詳しくはお問い合わせください。

千代田町ホームページ: <https://www.town.chiyoda.gunma.jp/>

ACCESS



お車でお越しの場合

- 東北自動車道・館林I.Cから約30分/
羽生I.Cから約30分/佐野藤岡I.Cから約40分
- 北関東自動車道・太田桐生I.Cから約30分/
足利I.Cから約40分
- 関越自動車道・花園I.Cから約50分/
東松山I.Cから約50分

電車・バスでお越しの場合

- 東武鉄道館林駅から路線バス利用
広域路線バス「館林・千代田線」
赤岩渡船行きで約50分
広域路線バス「館林・邑楽・千代田線」
千代田町役場前行きで約50分
- 東武鉄道川俣駅から路線バス利用
広域路線バス「館林・明和・千代田線」
千代田町役場前行きで約30分
- 東武鉄道太田駅から路線バス利用
広域路線バス「大泉・千代田線」
千代田町役場前行き(西小泉駅を経由)で約50分
- JR熊谷駅から
国際バス「熊谷駅・葛和田線」で
葛和田バス停まで約30分、赤岩渡船(無料)で
対岸の赤岩バス停まで約15分

田山花袋の愛した千代田町

小説『蒲団』で明治期の文壇に衝撃を与え、日本の自然主義文学の流れを決定づけたとさえいわれる奇才・田山花袋。妻子持ちの中年男が若さ輝く女弟子に抱いてしまった複雑な感情をありのままに描いたこの作品。フランスの自然主義文学が「自然の真実を描くためにあらゆる美化を否定する」ものだったのに対し、それに影響を受けたはずの日本の自然主義文学は、花袋のこの作品によって「ありのままを赤裸々に描く」というオリジナルの道をひらいた。と、それほどまでに影響力の

ある作品を書いたのが田山花袋なのです。彼の生まれは千代田町の隣、館林市。執筆活動は上京後始まったとされていますが、千代田町には彼が定宿にしていた料理屋が今でも利根川近くにあり、小説の舞台にもなりました。ここから川を眺めて詠んだ歌も多く、自然主義の旗手であった花袋らしい、飾らぬありのままそのまの利根川の四季が在り在りと残されています。時代をこえてなおも感じられる、花袋の見つめた千代田町の自然はまだそこにあります。

